

(3) 500m幅程度のルートゾーンへの絞り込み

北側のルートゾーンへの絞り込みを行った後 2-5 在可能な範囲の調査により(1)に示した考え方に基づいてルートゾーンを 500m程度まで絞り込みを行っている。ルートの概要は以下のとおり

(図 2.2.4-4 参照)。

- ・野麦峠から奈川地区は、既設送電線（中部電力高根中信線）に平行して通過、住居地区（寄合渡地区、奈川高原地区）や施設（野麦峠スキー場）を避けるとともに、奈川の住居地区からの景観や鉢盛山原生林に配慮しながら、鉢盛山西側斜面の標高 1,500m～1,600m 付近を通過するルート
- ・その後、安曇地区、波田地区にかけては、幹線道路（国道 158 号線）からの景観に配慮し、奈川渡ダム、水殿ダム、稲核ダムの右岸側に位置する既設送電線（当社梓川線の山側を通過するルート）
- ・山形村付近については、施設（清水高原、別荘エリア）や住居地区（上大池地区）を避けて、既設送電線（当社梓川線、高瀬川線）に併走させるルート
- ・朝日村付近についても、平野部の農地を最短で通過し、既設送電線（当社高瀬川線）に併走し、新信濃変電所に向かうルート

(4) ルートの決定

今後は、地権者による了解を得た上で、技術的な測量、地質調査等を実施し、その結果をもとに具体的な鉄塔の位置および高さを決定していく。

2.2.4.2 工事概要

(1) 設備概要

表 2.2.4-6 設備概要

項目	設備概要
区間	東京中部間直流幹線 中部電力(株) 東京中部間連系変換所（岐阜県高山市清見町） ～東京電力(株) 新信濃変電所（長野県東筑摩郡朝日村）
電圧・回線数	±20万ボルト 双極2回線
帰線	アルミ覆鋼心アルミより線 610mm ² 2 導体
電線	アルミ覆鋼心アルミより線 810mm ² 2 導体
線幅	約 13m
送電線のこう長	約 90km
鉄塔平均高さ	平均 50m
鉄塔基数	約 200基
経過市町村	岐阜県 高山市 長野県 松本市、朝日村、山形村

(4) 系統図

平成33年3月の東京中部間直流幹線運転開始予定時点。

図 2.2.4-5

(5) 鉄塔形状図 図 2.2.4-6

図2.2.4-1 東京中部間連系設備増強 調査範囲図

国土地理院の数値地図200000 (地図画像)
『高山』『飯田』を掲載

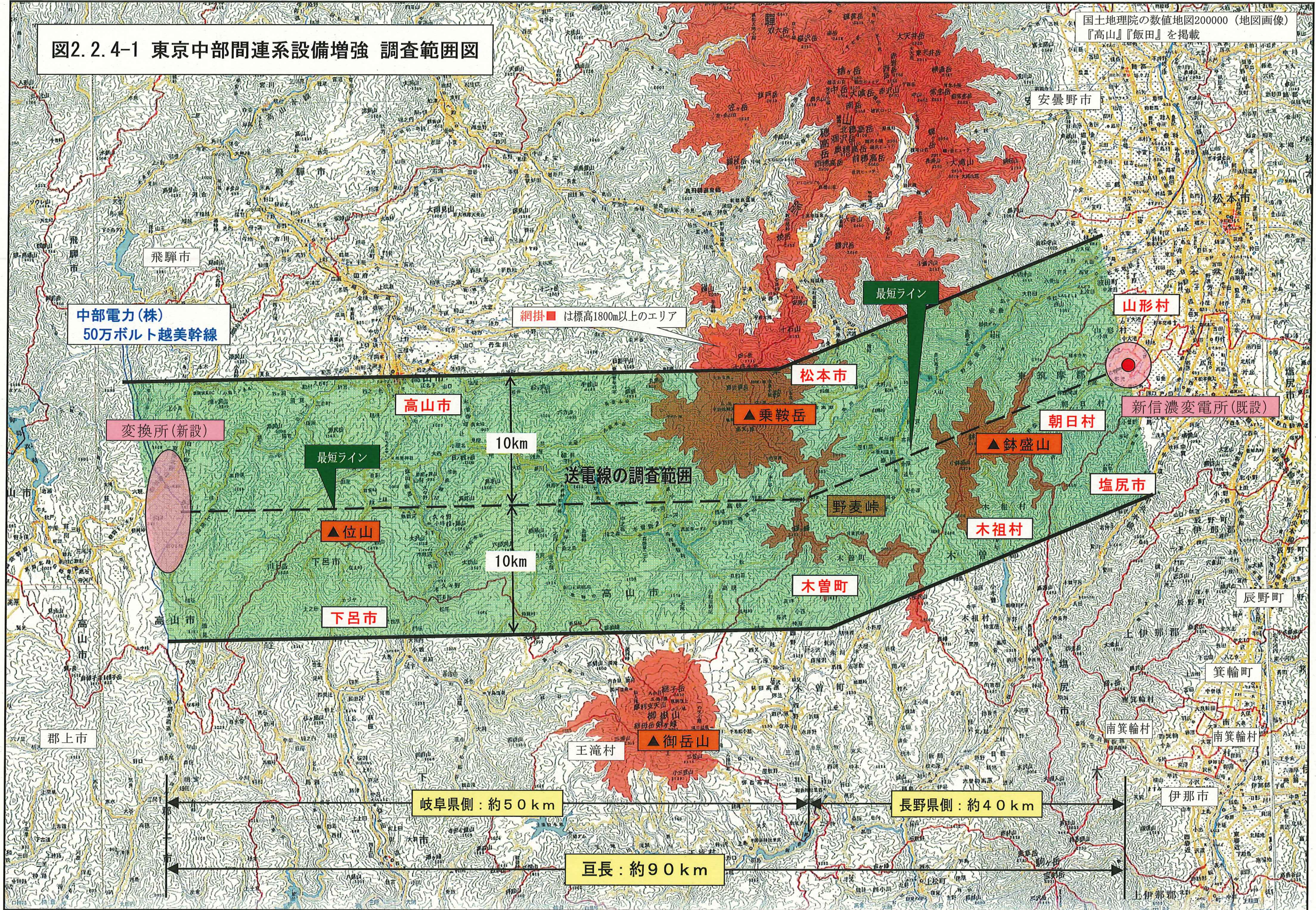
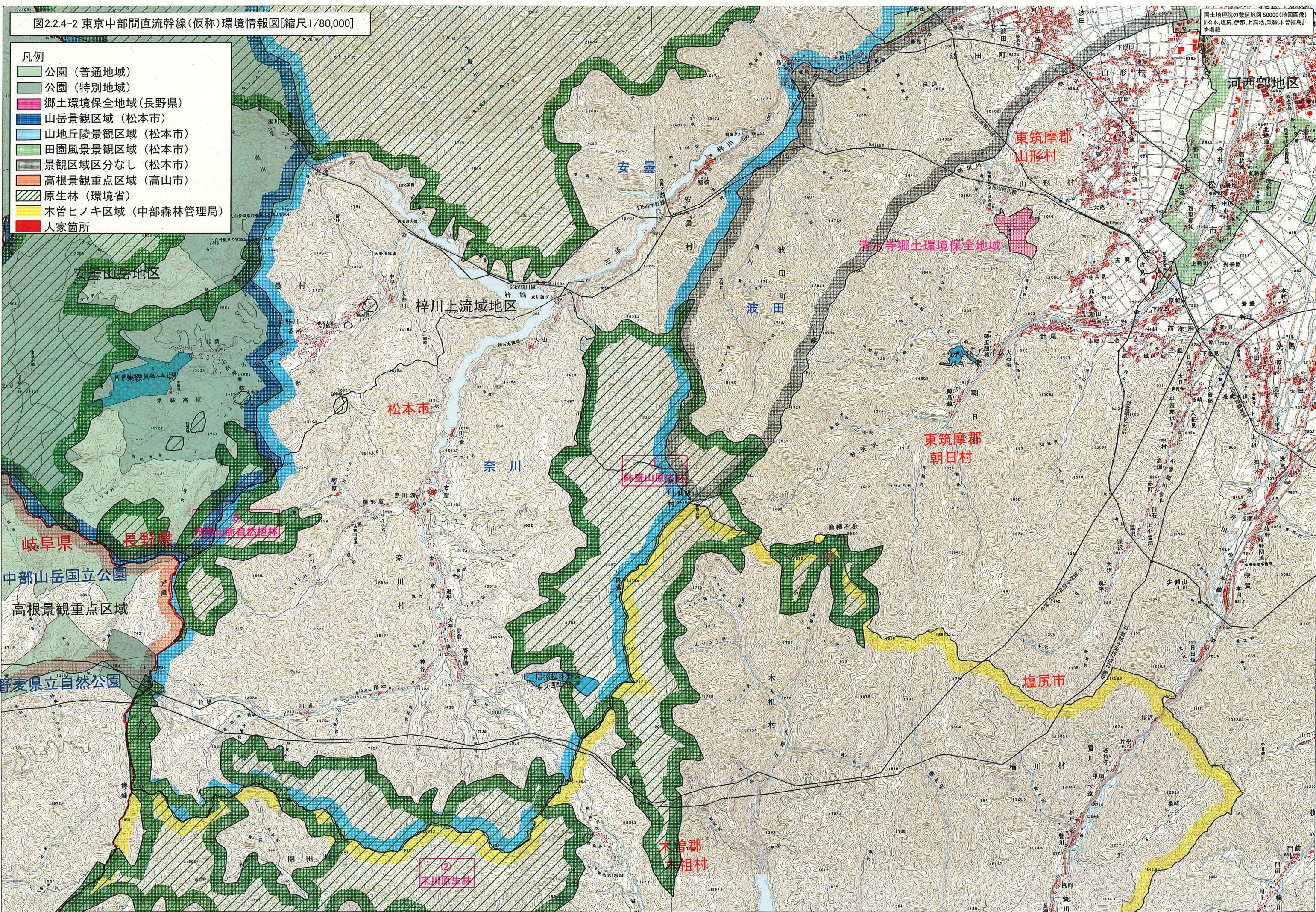


図2.2.4-2 東京中部間直線幹線(仮称)環境情報図[縮尺1/80,000]

- 凡例
- 公園(普通地域)
 - 公園(特別地域)
 - 郷土環境保全地域(長野県)
 - 山岳景観区域(松本市)
 - 山地丘陵景観区域(松本市)
 - 田園風景景観区域(松本市)
 - 景観区域区分なし(松本市)
 - 高根景観重点区域(高山市)
 - 原生林(環境省)
 - 木曾ヒノキ区域(中部森林管理局)
 - 人家箇所



国土院の数字地図50000(地図画像)
【松本、塩尻、伊那、上高地、乗鞍、木曾福島】
を掲載

図2.2.4-3 東京中部間直流幹線(仮称)ルートゾーン図

国土地理院の数値地図200000 (地図画像)
『高山』『飯田』を掲載

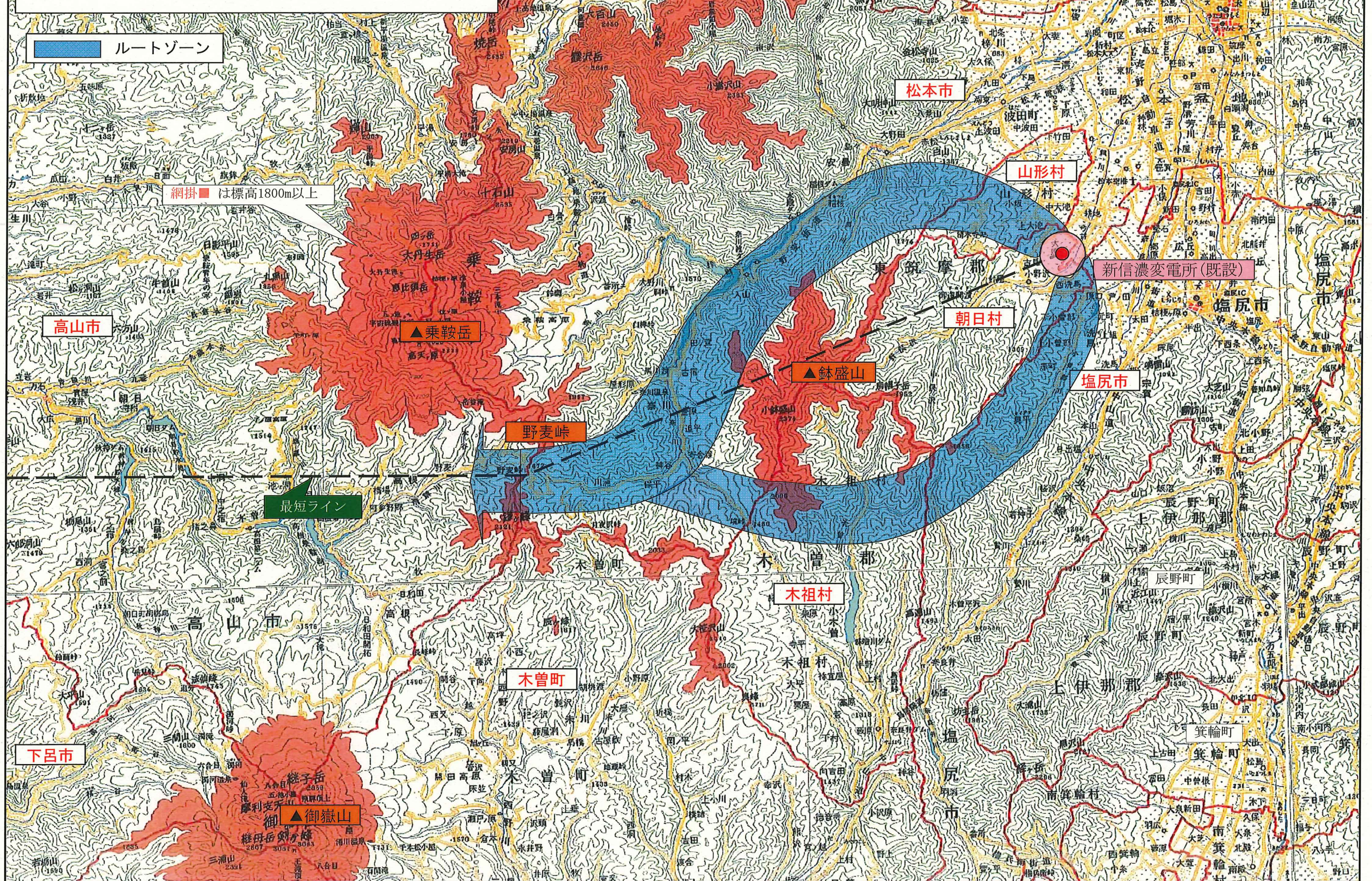
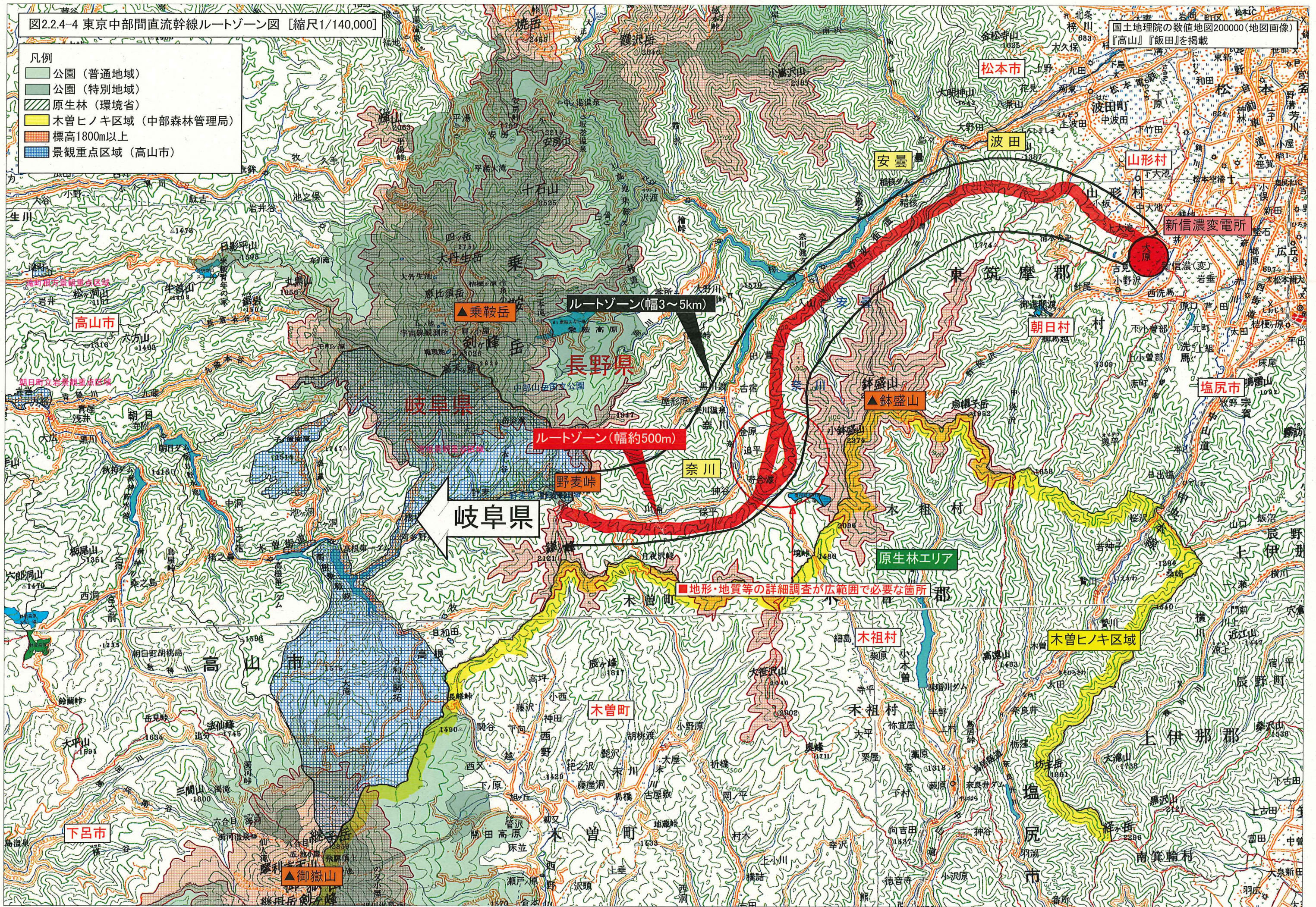
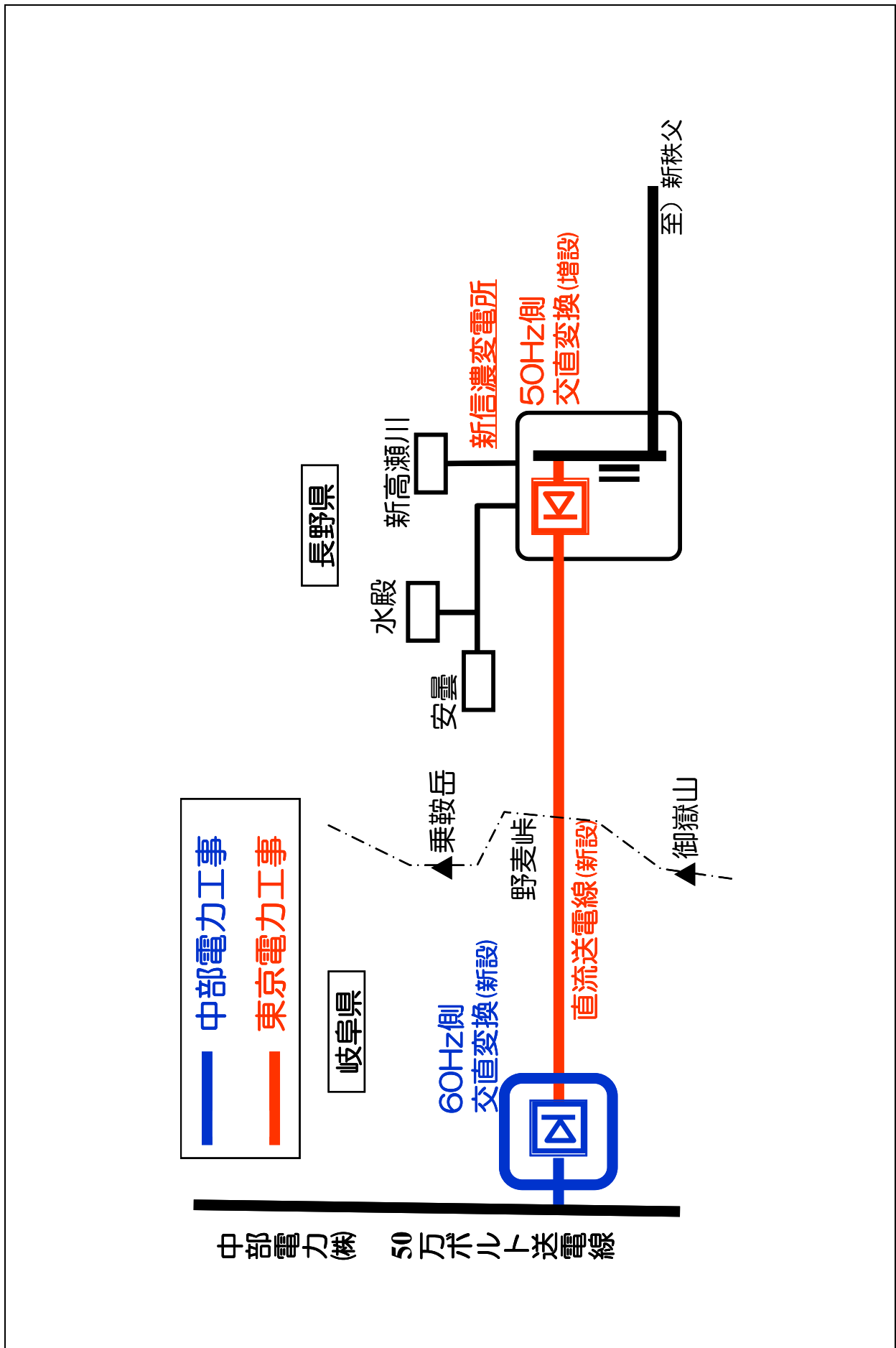


図2.2.4-4 東京中部間直流幹線ルートゾーン図 [縮尺1/140,000]

- 凡例
- 公園 (普通地域)
 - 公園 (特別地域)
 - 原生林 (環境省)
 - 木曾ヒノキ区域 (中部森林管理局)
 - 標高1800m以上
 - 景観重点区域 (高山市)

国土地理院の数値地図200000 (地図画像) 『高山』『飯田』を掲載





中部電力(株) 50万ボルト送電線

図 2. 2. 4-5 平成 30 年 3 月時点の系統図

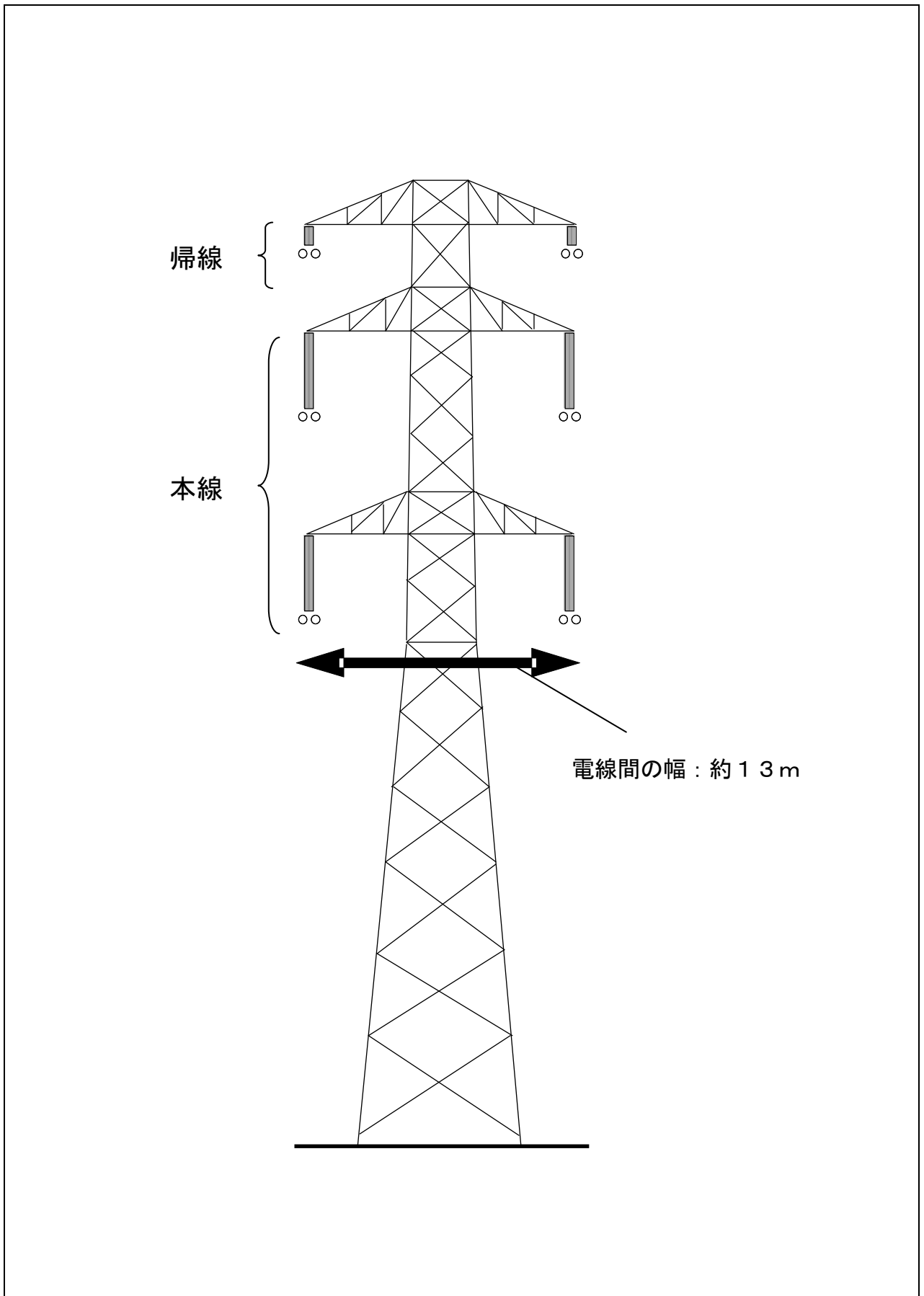


図 2.2.4-6 鉄塔形状図